

ちよぼら

みんなで楽しく気軽にちよっとずつのボランティア

vol.52

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



子ども見守り隊

各校区の見守り隊のみなさん、毎朝ごくろうさまです。
子どもたちの表情を見て元気よく「おはよー!!」

01-フォトギャラリー

「子ども見守り隊」

02-特集

マスクがつなぐ感謝の思い

～ボランティア連絡協議会が町内の
福祉施設にマスクを贈呈

03-コロナ自粛で訪問ができなくても…

～折り鶴会が作品と動画メッセージで交流～

04-感染防止で活動休止、

そんな中ボランティアは…

- ・家で参加できるボランティア“iサイクル”とは
- ・ボランティアについて知ろう！
- ・ボランティア体験募集中



マスクがっなく感謝の想い

ボランティア連絡協議会が町内の福祉施設にマスクを贈呈

ボランティア連絡協議会が外出自粛の中「家でできるボランティア」として、「手作りマスクで町内の福祉施設を応援しよう」との活動に取り組みました。

新型コロナウイルス感染拡大の中、昼夜を問わず利用者のサポートをされている福祉施設の職員の皆さんへ、手作りマスクで感謝と応援の気持ちを届けようと企画されたものです。

ボラ連会員とこの活動を知った地域の方々の協力で集まった 300 枚以上の手作りマスクには、感謝と応援のメッセージシールが添えられました。



- 活動期間 4月30日～6月3日
- 参加者 ボラ連会員 23名
一般の方 2名
社会福祉協議会職員 4名
(計29名)
- 集まったマスク 315枚

- 贈呈先 5月11日 聖ヨゼフ園、聖母園
5月19日 フレグランス大刀洗、大刀洗昌普久苑、大刀洗幸生苑
6月3日 小郡学園

5月11日、ぬくもりの館にて聖ヨゼフ園と聖母園に、19日にフレグランス大刀洗、大刀洗昌普久苑、幸生苑、6月3日に小郡学園と、6つの施設に手作りマスクを贈呈しました。



ボラ連の福村千代美会長が「私たちにできることで皆さんを応援したいと思いました」とマスクを手渡すと、聖母園の職員さんから「ボラ連の皆さんの気持ちがうれしい。帰ったら皆さんの気持ちを伝えます」と。また、ボラ連に加入している団体が毎月訪問している聖ヨゼフ園の職員さんからは「長期間に渡りボランティアさんたちに会えず、入所者も職員も寂しい思いでいます」と感謝の言葉をいただきました。



今回、マスクを贈呈した施設より、お礼状や感謝の言葉をいただきましたので、その一部をご紹介します。

聖ヨゼフ園より

- ・地域の方に自分たちの施設を大切にしてもらっていることが、よく伝わりました。
- ・大切に使用させていただきます。ありがとうございます。
- ・みなさまの温かいお心遣いがうれしいです。心より感謝いたします。一緒に乗り切りましょう。



こんな折、このような形で、地域の皆さまとのつながりを感じることができたことは、本当に大きな励みとなりました。これからも皆さまとのつながりを大切にしていきたいと思ひます。

大刀洗幸生苑より

必需品であるマスクをいただき、大変うれしく思っています。ハンドメイドのかわいいマスクを拝見し、皆さまが一つ一つ丁寧に仕上げられている姿を思い浮かべ、皆様の温かい気持ちを感じ、感激いたしました。

～ボラ連の福村会長からひとこと～

ボラ連会員、そしてこの取り組みを知ってご協力くださった方々、本当にありがとうございました。ひと針ひと針、心のこもったマスクが300枚以上も集まり、多くの福祉施設に寄贈することができました。



施設の方々にも大変喜んでいただき、ボラ連のチカラを感じたところです。これからも「無理をせず、できることから」の精神によるこびを感じつつボランティアを続けていきたいと思ひます。



コロナ自粛で訪問できなくても・・・ 折り鶴会が作品と動画メッセージで交流



「折り鶴会」は月1回、菊池校区にある医療福祉センター聖ヨゼフ園に訪問し、障がいをお持ちの入所者の方々と折り紙を使った作品を作りながら交流しています。しかし、今回のコロナ禍で長期にわたって訪問ができず活動休止が続いています。そんな中、「直接訪問できなくてもつながりを持てたら・・・」と夏らしい作品を作り、動画メッセージを添えて聖ヨゼフ園の職員さんに託しました。

代表の宮崎律子さんより「何カ月もお会いできていないので、作品を通して交流ができれば嬉しいです。」と作品を手渡すと、聖ヨゼフ園の職員さんからは「折り鶴会のみなさんが、元気に活動されている姿を見て嬉しくなりました。作品を見て、入所者のみなさんも喜ばれると思います。」とのお返事をいただきました。お互いに活動の再開を楽しみにされていました。

今回の贈呈にあたって、作品作りには折り紙サロンの方々が、また動画メッセージの作成には動画編集ボランティアの田畠孝三さんが協力し実現しました。



感染防止に伴う活動休止、そんな中「ボランティア」は... 一目も早い活動再開を願って、できることを続けています。

ナレーションサークル風 (朗読ボランティア)

図書館や施設でのおはなし会が中止となる中、町の情報誌の録音 CD の作成を続けています。

また、10月4日開催予定の人権朗読会に向けて練習に励んでいます。



無料・申込みは社協まで

いきいき幸せ大刀洗の会ひと花咲かせ隊 (花植えボランティア)

外で活動するひと花咲かせ隊は「3密」に気を配りつつ、役場前の花壇やロータリーの手入れを続けています。花は眺めるだけで癒されます。近くにいられた際は足を止めてみませんか？



ボランティアについて知ろう！ part2



ボランティアは自分に関心のあるテーマや自分にできることから始められる身近な活動です。

今回は、ボランティア活動をするうえで大切なことを2つ紹介します。

★ 非営利性

ボランティア活動は、活動目的の達成によって、出会いや発見、感動、そしてよろこびといった精神的な報酬を得る活動であり、個人的な利益や報酬を第一の目的にした活動ではありません。(ただし、交通費や食費、材料費などの実費弁償については無償の範囲としています)

★ 創造性

目の前の課題に対して、何が必要なのか、そして、改善のためにはどうすればよいか。ボランティア活動では、従来の考え方にとらわれることなく、自由な発想やアイデアを大切にしながら、方法やしぐみを考え、創り出していくことが大切です。

ボランティアを体験してみたい方



「ボランティア団体の活動内容が知りたい」「ボランティア活動には興味あるけれど、私にできるかな?」と思っているみなさん、まずは、ボランティア活動を体験してみませんか?

連絡先: 大刀洗町ボランティアセンター TEL77-4877

家で参加できるボランティア “iサイクル”とは

『i(私)が始めるリサイクルで、人と環境に愛を循環(サイクル)させるための活動』です。“ゴミ”とされているペットボトルキャップを再資源として収集し、業者による買取(キャップ200個で10円)を経て植物プランターに再利用、その売却益によりアジア途上国における国際協力事業を支援しています。例えば、粉ミルク支援や妊産婦へのビタミンB1サプリメント配布など母子保健向上のための支援に役立てられています。

2010年より聖マリア病院(久留米市)を中心に始まったこの活動には、現在多くの幼稚園・保育園・学校・企業・団体が参加、大刀洗町でも「大堰アンビシャス広場」「たけのこクラブ」が活動しています。

誰でも生活の中で協力することができる『iサイクル』に参加してみませんか?



スマイル



代表

福村宮生
 福田村千代美
 宮崎孝三
 秋山裕誠
 美